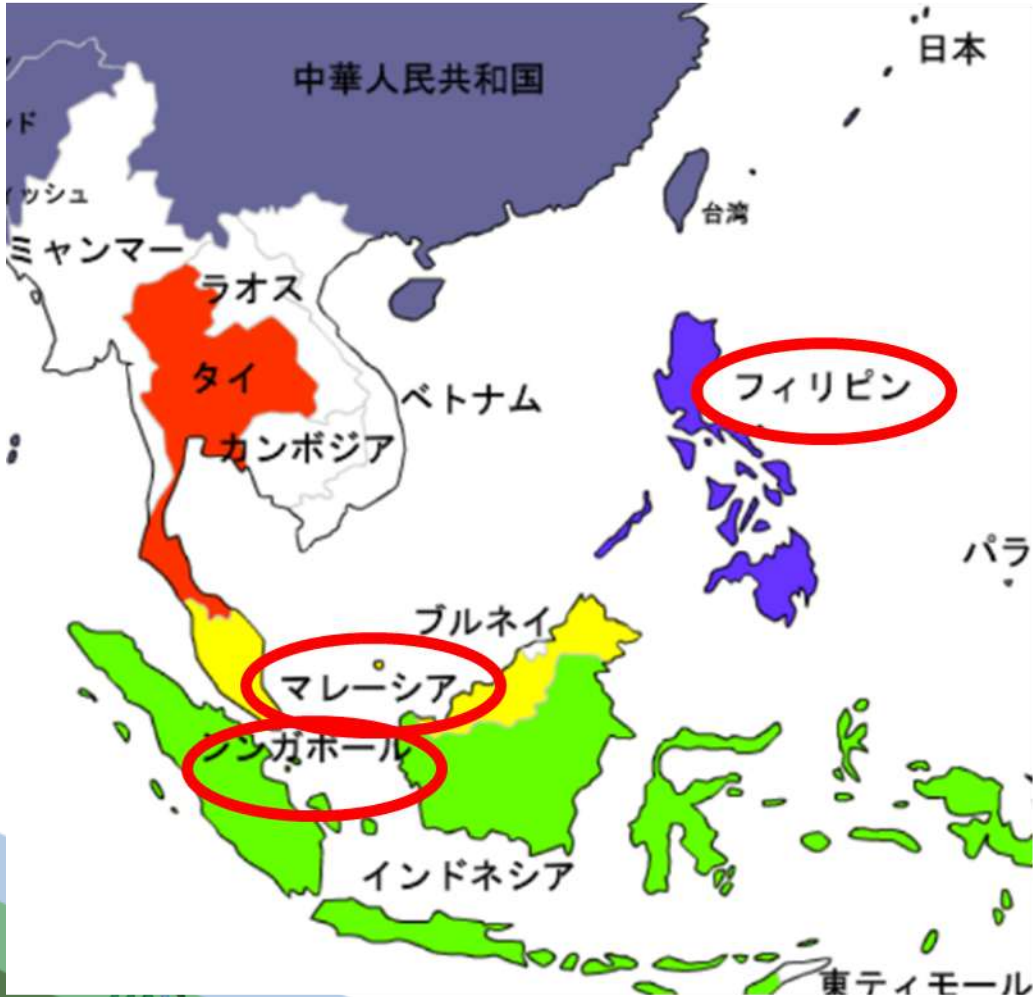


海外事情(アセアン)

第22次FECアセアン訪問団(シンガポール・マニラ)  
+クアラルンプール視察報告

2026年3月8日～3月17日

# 3か国主な概要



## シンガポール共和国



- ・面積：736.3平方キロメートル  
(東京23区よりやや大きい)
- ・人口：611.1万人 (2025年) JETRO資料
- ・経済レベルは先進国。GDP (1人当) は世界でトップクラス、物価高が非常に深刻
- ・アジア金融ハブ・ビジネス環境が非常に良い

## フィリピン共和国



- ・面積：298,170平方キロメートル  
(日本の約8割)。7,641の島々
- ・1億1,272万9,484人  
(2024年フィリピン国勢調査)
- ・経済レベルは新興国。GDP (1人当) 低～中
- ・人口増加とサービス産業で成長する新興経済

## マレーシア



- ・面積：約33万平方キロメートル  
(日本の約0.9倍)
- ・約3,350万人 (2023年マレーシア統計局)
- ・経済レベルは中進国。GDP (1人当) 中。
- ・高所得国に手が届く勢い
- ・製造業と資源を軸に安定成長する中進国



アジアを代表する国立大学の一つとして、世界中から来る多くの学生に世界最高水準の研究施設と教育環境を提供している。ここで働く大場氏にインタビュー。

## NUS Enterpriseとは？

- NUSの企業・イノベーション推進機関
- 学生・研究・企業をつなぐハブ
- スタートアップ創出・成長支援
- グローバル展開支援

「大学発イノベーションの中核組織」

## BLOCK71 プロジェクト

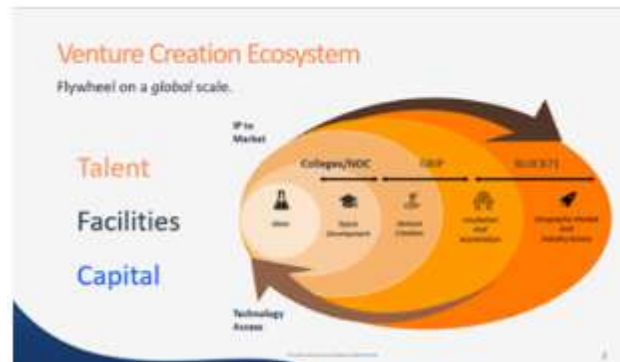
- NUS Enterpriseの組織のひとつ
- スタートアップ集積拠点
- 日本(名古屋・高輪)にも拠点

東南アジアのスタートアップが日本に進出する際或いは日本のスタートアップが東南アジアへ進出する際の支援拠点としての機能。

スタートアップを育てる実践の場



NUS Enterprise entrance





グレニーグルス病院は、シンガポールおよび地域全体で二次・三次医療を必要とする患者のニーズに応えるため、幅広い臨床専門分野を提供。この病院内にある日系クリニック、日本メディカルケアシンガポールの佐藤医師にインタビュー。



Gleneagles Hospital Singapore

## <シンガポール医療事情>～佐藤医師より

- ・公立病院 11病院 26ポリクリニック
- ・私立病院 9病院 3500クリニック

### ・最近の課題

高齢者割合増加、出生率低下、慢性疾患の増加  
医療、介護人材の減少 → AI活用推進

### ・医療保障制度～3つの方式＋民間保険

**Medisave**: 個人の医療貯蓄口座で、日常の医療費や入院費を自分の積立から支払う仕組み。 **積み立て義務化**

**MediShield**: 高額な入院・治療費に備える公的保険で、Medisaveから保険料を支払える。

**MediFund**: 低所得者が医療費を払えない場合に国が支援する最後のセーフティネット。

# フィリピン（マニラ）に関する現地事情報告（1）



## 1. 日本との関係

- 日本はフィリピンにとって主要な貿易相手国の一つ。
- 経済協力面では、日本は最大の政府開発援助（ODA）供与国。
- 2026年には国交正常化70周年を迎え、両国で記念ロゴを作成

## 2. 日系企業の進出状況

- 進出日系企業数：1,604社（2023年10月時点）
- 企業からの主な評価：
  - **メリット**
    - 英語が広く普及しており、現地スタッフとのコミュニケーションが容易
    - 人件費が比較的安価
  - **課題**
    - 税制や行政手続きの煩雑さ
    - 台風などの自然災害リスク



Years of Philippines - Japan Friendship  
日本・フィリピン友好年  
1956 - 2026

## 3. 金融動向

- BDO Unibankが日系企業向け支援（ジャパンデスク）を展開

# フィリピン（マニラ）に関する現地事情報告（2）



## 4. 医療・健康課題

- ・平均寿命：約70歳（男女計）現時点では高齢化による介護問題の影響は限定的だが、今後の寿命延伸に伴い対策が必要とされている。
- ・食生活（脂質中心・野菜不足）や運動不足により、循環器系疾患等の非感染性疾患の死亡率が高い。
- ・特に高血圧対策が重要課題として位置づけられており、教育施策の強化が進められている。
- ・これに伴い、家庭用血圧計などの医療関連機器の需要拡大が見込まれる。



保健省（DOH）にて記念撮影



在フィリピン日本国大使館にて（横田公使中央）

# マレーシア（クアラルンプール）に関する現地事情報告（1）



## 1. 都市・インフラ環境

- ・クアラルンプールは東南アジアの中でも高度に近代化された都市であり、都市部のインフラは非常に整備されている。日本企業も多く進出している。TOYOTA社多い。
- ・都市部の発展度はシンガポールに近い水準。現状：中所得国→高所得国入り目前
- ・シンガポールより物価が低い投資先としての魅力が増加

## 2. 民族・宗教構成と文化

### 民族構成

- ・ マレー系：約70%（先住民含む）
- ・ 中華系：約23%
- ・ インド系：約7%

### 宗教構成

- ・ イスラム教（国教）：64%
- ・ 仏教：19%
- ・ キリスト教：9%
- ・ ヒンドゥー教：6%
- ・ その他：2%



アセアン議長国・高市総理参加

### 文化的特徴

- ・イスラム文化が社会に深く浸透
  - ・ ラマダン（断食月）：日中は飲食を控える習慣
  - ・ ハラル（宗教的に許された食品）文化
- ・これらは社会的に当然のものとして受け入れられている
  - \* マレー系優遇政策が存在
  - ビジネスや雇用に一定の影響あり



世界で一番高いツインビル前

# マレーシア（クアラルンプール）に関する現地事情報告（2）



## 3. 医療環境・医療機器規制

参考：経済産業省「医療国際展開カントリーレポートマレーシア編（2024年3月）」

- ・医療水準は比較的高く、特に私立病院は設備が充実。英語対応が一般的。日本語対応可能な医療機関も存在。（公立病院と私立病院の割合は半々）
- ・JCI取得病院も多く、医療ツーリズムを推進している
- ・医療機器はすべてMDA（医療機器当局）登録が必須  
→ 登録プロセスは厳格でハードルが高い

## 4. 日系企業コミュニティ

- ・マレーシア日本商工会議所（JACTIM）  
→ 加盟企業：約630社
- ・駐在経験者のネットワークが極めて有効  
例：駐在製薬企業関係者を通じた大使館との面談実現

→ 人的ネットワークがビジネス機会創出に直結



在マレーシア日本国大使館にて（四方大使中央）  
（姫路城の桜をバックに）

# SUNWAY MEDICAL CENTER訪問



・マレーシア最大級の総合病院

世界トップ250病院に選ばれている

アジアの医療ツーリズムでも高く評価されている

・病床数約848床



ホテル仕様のSUNWAY MEDICAL CENTER



日本人専用センター



病理関連機器(日本製品)